



日本学術会議主催 学術フォーラム

巨大災害から生命と国土を護る ―三十学会からの発信―

日時：平成二十四年十一月二十九日（木）午後一時から午後六時 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）

東日本大震災を受けて、巨大災害から生命と国土を護るため、30学会が集まり連続シンポジウムを開催してきました。すべての学会の代表が結集し総括フォーラムを開催します。

プログラム

13:00 挨拶・シンポジウム報告

- 司会：目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）
- 挨拶：大西 隆（日本学術会議会長、東京大学教授）
- 家 泰弘（日本学術会議会員、第三部部长、東京大学教授）
- 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

連続シンポジウム報告（第1回―第7回）：

依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

13:20 学会発表およびディスカッション（詳細は2ページを参照ください）

コーディネータ 米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

発表者 30学会から会長などの代表者が4テーマに分かれて登壇

テーマごとに発表とディスカッションを行う

- テーマ1：想定される巨大災害と国土づくり
- テーマ2：巨大災害に強い地域・まちづくり
- テーマ3：巨大災害に今どう備えるか
- テーマ4：自然災害と国土保全

17:30 全体討論

17:55 閉会挨拶 依田照彦

定員：先着340名

問合せ先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

TEL：03-3403-6295 FAX：03-3403-1260

お申込み：<http://jeqnet.org/sympo/no8.html>

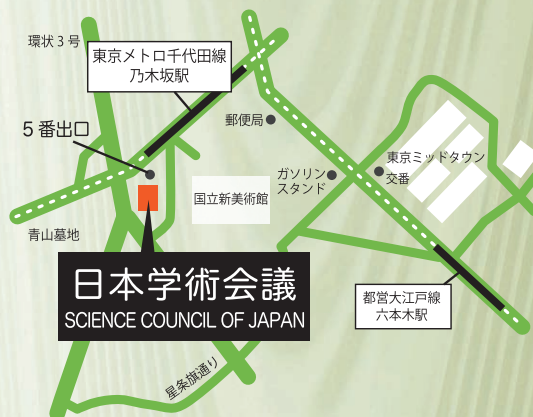
東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

- 環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
- こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、
- 地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、
- 日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、
- 日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、
- 日本原子力学会、日本コンクリート工学会、
- 日本災害情報学会、日本自然災害学会、
- 日本集団災害医学学会、日本森林学会、日本地震学会、
- 日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、
- 日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、
- 農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会十学協会連絡会）



学会発表およびディスカッション

コーディネータ 米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

13：20 テーマ1：想定される巨大災害と国土づくり

テーマ趣旨：

東海地震・東南海地震・南海地震、さらに首都直下地震などへの対策は急務かつ重要な課題であり、ハザード（地震動、津波など）とそれへの対策の二面から検討する必要がある。長期的なビジョンの下で作成される国土計画やこれに基づく社会基盤の整備を進める必要がある。また、このようなハード面の充実に加えて、災害時の対応などソフト面での対策も欠かせない。これらを組み合わせた経済的・時間的に現実的な国土政策はいかにあるべきかを議論する。

日本地震学会会長	加藤照之
日本活断層学会会長	中田 高
日本地震工学会会長	川島 一彦
日本自然災害学会副会長	高橋和雄
日本災害情報学会副会長	吉井博明
土木学会会長	小野武彦
日本計画行政学会会長	大西 隆

14：20 テーマ2：巨大災害に強い地域・まちづくり

テーマ趣旨：

東日本大震災の後、日本列島が地震の活動期に入っているといわれ、巨大地震の発生が危惧されている。地域・まちづくりにおいて、今後、根本的に見直していくべきものは何かを議論する。さらに、今後の望ましい地域・まちづくりにおいて、重要と思われる方向性およびその方法などについて議論する。

日本建築学会会長	和田 章
空気調和・衛生工学会副会長	井上 隆
こども環境学会会長	小澤紀美子
日本造園学会会長	増田 昇
地理情報システム学会会長	浅見泰司
日本都市計画学会会長	後藤春彦

15：20 休憩

15：30 テーマ3：巨大災害に今どう備えるか

テーマ趣旨：

東日本大震災の被災地における復旧・復興を一刻も早く成し遂げるとともに、それを通して得られた減災のための知見をいち早く近い将来に迫る巨大災害対策へ反映することが喫緊の課題である。時間的、社会的および経済的制約の下で、いかにしてわが国が巨大災害に備え、迎え、そこから再生すべきかを議論する。

地域安全学会会長	宮野道雄
日本火災学会会長	佐藤研二
環境システム計測制御学会会長	清水芳久
日本原子力学会会長	野村茂雄
日本機械学会会長	金子成彦
日本集団災害医学会代表理事	山本保博
廃棄物資源循環学会副会長	吉岡敏明

16：30 テーマ4：自然災害と国土保全

テーマ趣旨：

自然環境・社会環境の劣化と少子・高齢化が急速に進み、社会的・経済的大打撃に対する回復力が期待できなくなりつつある我が国では、災害に強い国づくりが今後一層重要となる。各地で頻発する洪水や土砂災害などの自然災害を踏まえ、国土保全の観点から、課題と今後の方向性を議論する。

砂防学会前会長	鈴木雅一
日本森林学会会長	井出雄二
日本地すべり学会会長	檜垣大助
地盤工学会会長	末岡 徹
日本応用地質学会会長	千木良雅弘
日本コンクリート工学会副会長	丸山久一
農業農村工学会会長	塩沢 昌
日本水環境学会会長	中島 淳
日本地域経済学会理事長	鈴木 誠